



## 育苗管理について

### 【目標苗質】

近年、5月後半に気温が高くなることが多く、移植時の苗の葉令が進み過ぎ、苗質の低下や早期異常出穂の発生が多く見られます。特に、成苗ポットでは適正葉数を超えないように注意しましょう（表1）！

表1 育苗の基準

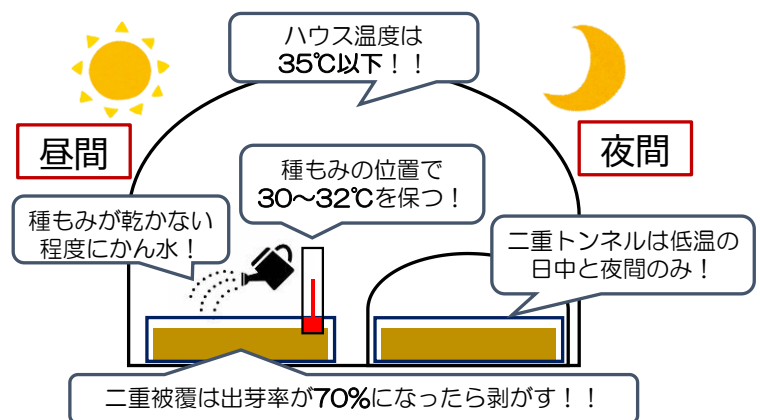
	育苗日数	移植時葉数(葉)	草丈 (cm)	第一鞘高 (cm)	分けつ	その他
成苗 ポット	30~35日	ゆめぴりか:3.6~4.3 ななつぼし:3.6~4.0	10~13	2.5 cm 以下	有	2.5 葉期以降は 25℃以上にしない。
中苗 マット	30日程度	3.1以上	10~12		-	追肥:N 1.0g/箱 ①1.0-1.5 葉期 ②2.0-2.5 葉期
稚苗 マット	20~25日	2.0~2.5	8~12		-	追肥:N 1.0g/箱 ①1.0-1.5 葉期
密播 中苗	30~35日	2.6以上	10~12		-	追肥:N 2.0g/箱 ①1.0-1.5 葉期 ②2.0 葉期以降

### 【育苗管理】

#### ① は種～出芽揃 (図1)

- 出芽時の温度は籾の位置で測定し、30~32℃を保つよう調節する。
- 40℃以上になってしまうと、高温障害による発芽不良の発生や、重度の場合は枯死してしまうため、温度管理には十分注意する。  
 ☞ 特に、成苗ポットは空間が多い為日光が当たりやすいので注意!
- 二重トンネルは低温時の日中と夜間のみ行う。
- 出芽率が70%程度になったら、二重被覆を剥がす。（※出芽=白い芽が少しでも出ている状態）
- かん水は、乾かない程度に行う。

図1 育苗管理のポイント (は種～出芽揃)



## ② 出芽揃～1.5 葉期（図2）

□ かん水は、苗の生育に必要な量とし、過湿を防止し発根を促進する。

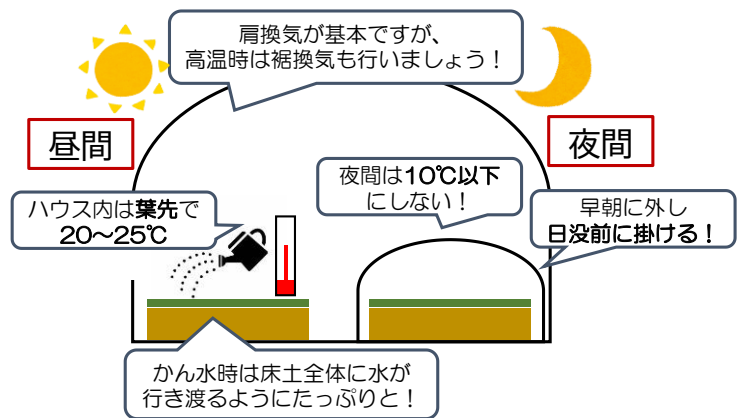
☞ 毎日のかん水は根張り不良につながります！

□ かん水は晴天日の早朝に行い、葉先に水滴が少ない場合はたっぷりとかん水する。

□ ハウス内温度は、葉先の位置で 20～25℃を保つようにする。

□ 極端な低温管理は後半の草丈が伸びにくくなることから、夜間の温度は 10℃以下にしないように日没直前にトンネルをかけて温度を保つ。

図2 育苗管理のポイント（出芽揃～1.5 葉期）



### 【追肥】

□ 稚苗マット苗は追肥を1回、中苗マット苗・密播中苗では追肥を2回行う（表2・表3）。

※ 成苗ポット苗の追肥は原則不要です。

※ 3回目の追肥は必要に応じて行いましょう。

□ 施肥後は必ずかん水し、肥料分を洗い流す。

表2 追肥の基準

育苗様式	1回目	2回目	3回目	1回当たり追肥量
稚苗マット	1.0～1.5 葉期	—	—	N 1.0g/箱
中苗マット	1.0～1.5 葉期	2.0～2.5 葉期	(3.0 葉期)	N 1.0g/箱
密播中苗	1.0～1.5 葉期	2.0～2.5 葉期	(3.0 葉期)	N 2.0g/箱

表3 追肥例

	肥料銘柄	箱(冊)当たり必要量	坪当たり必要量
例1	液肥(18-6-0)	100 倍液で 0.5L	100 倍液で9L
例2	NP 化成 57	7g	120g
例3	硫安	5g	90g



農作業事故に注意しましょう 😊